



おめでとう!!

旅立ちの会

去る三月八日、園の梅がほころぶ中、冬が帰ってきたような寒い日に、旅立ちの会が開催されました。少年・少女時代を過ごした晴香園から卒園し、それぞれの道を目指して一歩踏み出します。その門出を、みなさんでお祝いし、これからも応援しているよというメッセージを伝える大切な会です。

今年の卒園生は五名です。全員十八歳で、この春高校を卒業しました。進学が三名、就職が二名です。すぐに引越して一人暮らしを始める子もいれば、措置延長制度を利用して、半年から一年の間園に残る子もいます。これまで通り職員をサポートを受けながら、新しい環境に慣れたり、さらなる自立の練習を重ねて、より自立のハードルを下げ、本人の負担感を減らすことができます。昔は十八歳の年度末で出て行くことが当たり前でしたが、今は児童福祉の考え方も変わり、自立に必要な時間はそれぞれ違うという考えのもと、その子に合った自立へのステップを、職員や児童相談所と一緒に考えて選べるようになりました。今年の卒園生も、三名がこの制度を利用

します。普段、同じホームで生活し、笑い合い、時にはケンカすることもありますが、一緒に育ってきただけに、一足先に大人になった仲間の晴れ姿は、単なるお祝いや別れの寂しさの気持ちだけの場ではありません。いつかは自分もあそこ立つ、という気付きを与えられる場でもあります。いつか子ども時代は終わること、そしてそれはそう遠くはないこと、それに備える必要があること。職員が言う百の言葉より、こういう機会に仲間から感じ取ったことの方が、胸に響くことがあるのは確かです。

そして、それを共に喜び、応援してくれる人たちがたくさんいることも、一緒に感じとってほしいと思います。この後のページに掲載してあります卒園生たちの旅立ちの言葉を見ればお分かりになると思いますが、どの子も「ありがとうございます」があふれています。みなさまのお気持ちはしっかり伝わっています。これからも、変わらぬご支援をよろしくお願

職員TからYさんへ

送る言葉

い致します。そして、社会のスタートラインに立った今回の五名の卒園生たちの未来が、幸多き日々であることを、私たち職員と一緒に祈っていただけば幸いです。

るんだね。

もう少し晴香園で暮らしてくれてることだから、またポテサラ作ってね。他のお料理も楽しみにしているよ！これからもずっとYさんのこと応援しているからね。

旅立ちの言葉

Yさん(大学進学)

私は中学二年生の冬頃に来ました。最初の頃は新しい環境に慣れるよりも、新しい人間関係を築いていくことが一番大変でたくさん悩みました。当時からホーム内では揉め事が多く、職員にはたくさん負担をかけてしまいました。それでも、職員は私に向き合い続けてきてくれたことに感謝しています。

イベント行事の参加や交流会、旅立ちの会での司会などたくさんさんの思い出と経験をできました。その中で緊張や焦り、辛いこと、泣きたくなるようなことがたくさんあり、心が折れそうになることがありました。そんな時にそばで支えてきてくれたのはホームの

職員です。上手いかないこ

とが多く、八つ当たりをたくさんしてきてしまったけれども職員はずっとそばで私の悩みを聞いてきてくれました。本当にありがとうございます。

後援会の皆様たくさんさんのサポート本当にありがとうございます。私はあと一年ほどいますのでこれからもよろしくお願いします。

Kくん(大学進学)

私が今日この場に立てているのは、後援会の皆さまを初め、私のことを側で見守ってくださった職員の力添えがあつてこそだと思っております。まずはその事に対し、お礼申し上げます。

僕はこの春から大学に入學し、それに並行して今月末頃から一人暮らしを始める予定です。最近夕飯を自分で作るようになったのですが、職員の有り難みを毎日のように感じます。帰ってきてご飯が用意されている事がどれ程贅沢なことなのか最近になって分かりました。

在園生の皆さんへ。皆さん



旅立ちの言葉

は「トムとジェリー」というアニメはご存じでしょうか。このアニメの最終回でジェリーがトムの死後、新たにやってきた猫にちょっかいを出したところこっぴどく仕返しされて「本当の猫はもっと強かったんだ」と、今までトムが手加減してくれていたことに気が付きます。僕も含めて今の自分が置かれている環境は本当は甘いもので、これからやってくる現実はずっと厳しいものだと思います。しかし、皆さんが関わってきた職員や後援会の方々はどうな厳しい環境でも優しく迎えてくれる存在です。自分と関わってくれる人達を大切にして下さい。

最後に繰り返しになりますが、今まで支えていただいた後援会の皆さん、職員の皆さん、今まで特にありがとうございます。ありがとうございました。

Mさん(就職)

まずはお忙しい中、私たちのためにこのような会を開いていただきありがとうございます。私は五歳の時からお世話になってるので、今年で十三年目になります。たくさん

の卒園生を送ってきて、今年が自分なんだなと思うと信じられません。昔の自分は、常に反抗期でした。ホーム職員を傷つけるのは当たり前で、泣かせてしまったこともありました。なので叱られることが多かったです。今思うと申し分ない気持ちでいっぱいです。

日頃からお世話になってるホームの職員そして私たちの支援をしてくださっている後援会の皆様がいるからこそ、日常生活を過ごせています。

時には迷惑をかけてしまったと思うけど、いつも側にいてくれてありがとうございます。晴香園は楽しかった

こともそうじゃないこともたくさんあります。でも私はこの場所が好きです。ありがとうございます。ありがとうございました。

松井秀文後援会会長より

晴香園の子ども達にいつも温かいお気持ちを寄せていただいている皆様、本当にありがとうございます。皆様方の力強い支えに心から感謝しております。

今年も春の訪れとともに晴香園から5名の若者が旅立っていきました。6名が高校を卒業し、「学び基金」を使って大学へ2名、専門学校へ1名が希望した学校に進学しました。そして就職は2名。残る1名はもう1年晴香園に残り予備校に通い、来年また大学受験に挑みます。

認定NPO法人キッズドアが昨年10～11月に子どもの大学等受験についての実態調査をしています。これは困窮世帯1160世帯にフォーカスしたアンケート調査で対象者の内、母子世帯が85%、世帯所得300万円未満が8割です。結果を見ると、対象世帯が困窮世帯ということもありますが、高

在校生以上の子どものいる保護者の87%が「受験や進路選択に家庭の経済状況が影響する」と回答。具体的に考えられる影響としては「塾・予備校に通うことが出来ない」が75%、「進学先が自宅から通える範囲の学校に限定される」が56%。また、受験費用の準備手段として「借り入れ」と答えた人は6割に及んでいます。そして保護者の70%が「進学後の給付型奨学金の対象拡大」や「受験料の補助・免除」を希望しています。「通常の母子家庭は昨今の物価高に困っているのに大学進学などほど遠いです。これでは貧困の連鎖は断ち切れないと感じます」と、ある保護者は語っています。

また、日本学生支援機構の調査によると何らかの奨学金を受給している大学生(昼間部)は2022年度で55%。2年前に比べて5.4%上昇している。この様に学びの経済的環境は物価高騰の影響もあり、厳しいものとなっていることが分かります。

生徒への就学支援金の所得別制限を撤廃し、それに年間5000億円を充てると。現在の高校進学率(通信制を含む)が約99%と考えると上述のアンケート調査で分かるように公的支援は大学生、更には大学院生が安心して、教育を受けられるようにすることが優先されるべきと思います。

晴香園の子ども達は皆様のご支援のお蔭で安心して進学出来る体制となっており、本来に有り難く、皆様には感謝の気持ちで一杯です。

卒園生の中で、大学を卒業後、設計士として建設会社で働き、そこで貯めたお金で社会福祉を学ぶために、昨年度校に入り直した方がいます。

また、現在スポーツトレーナーとなるために専門学校に通っている人が学校を卒業したら更にレベルアップするため、医療系の学校に入ること考える方がいます。

このように「学び」を更に深め、将来の仕事をより深いものにしていきたいという挑戦に後援会は喜んで必要な支援をしていきたいと思えます。今後、

大学院で学びたいという子どもも出てくればそれも支援する体制を作りたいと思えます。

ただ、最近の晴香園の子どもの達の傾向として、塾や予備校に通う中学生、高校生が減っており、昨年は6名しかいませんでした。上述の通り、世の中には塾に行きたくても行けない人のいることを考えると、もつとチャレンジして欲しいと思うのですが、理由は定かではありませんが、もしかししたら大学や専門学校に推薦で入学出来る枠が拡がり、その中で進学先を選ぶので、塾や予備校に通う必要が少なくなっているという傾向があるのかも知れません。

一方でNPO法人みらいの森が主催している「みらいの森キャンプ活動とリーダー活動」への参加者は多いとのこと。子ども達はこのような体験活動が合っているのだと思います。

また、園内のクラブは卓球は10名、マウンテンクラブ5名、サッカークラブ5名、写真クラブ6名、飼育クラブ3名と、クラブ活動は活発です。このようなアクティブな活動

を通して社会に出て必要なスキルを身に付けて成長して欲しいと心から祈るばかりです。

以前にもこの欄で記載しましたが「貧困の連鎖」を絶つのは教育です。教育を受けるチャンスは子ども達に平等に与えられなければなりません。私どもは皆さんからの支援という強い力をお借りし、今後とも、子ども達が自分の夢を叶える挑戦ができるようサポートを続けて参ります。皆様方の一層のご理解、ご支援、よろしくお願いいたします。



一年ほど前の園だよりで、厨房の職員に弟子入りした記事掲載した日くん、みなさま覚えておられるでしょうか?今回は彼のその後をお伝えします。

日くんの料理への情熱は、消えることなく継続中です!今はホームでのごはん作りをよく手伝ってくれます。オム



回鍋肉



最新作

ライスの薄焼き卵も上手に出来ますし、鶏のから揚げなど、揚げ物にも果敢に挑戦しています。写真は回鍋肉のために、野菜を切っているところです。そして、日くんの進化はこれだけではありません。最近では、お菓子作りにも精力的に挑戦しています。写真は、日くんお手製のアップルパイとプリンです。プリンはカラメルの下にのせて、これもちちごを煮詰めて日くんが作った自慢の一品で、トーストに塗っても美味です。

日くんはこの春小学校を卒業し、中学に進学します。今後はどんな美味しいものを作ってくれるのかなあ...と職員も楽しみにしています!

新規会員ご入会継続会員費

納入ありがとうございます

お名前に誤字、脱字、記載漏れがありましたらお詫び申し上げます。また、その旨のご連絡をいただきますようお願い申し上げます。今号では、令和6年7月1日から令和7年2月28日の間に、ご入会の方及び会費を納入いただいた方、ご寄付、ご厚意をお寄せいただいた方を掲載させていただきました。

(敬称略・順不同)

【新規会員】

鶴岡 ひとみ 石田 良成
杉村 奈奈子 村山 芳史
齋藤俊夫税理士事務所

【継続会員】

東 廣光 倉島 広治
小堺 重保 柴野 太郎
月館 聡成 須藤 孝子
渡部 美智子 菅原 久
中村 俊之 加藤 康成
田村 茂 石井 田鶴子
宍戸 一陽 佐々木 襄
尾原 榮夫 根岸 正国
柿沼 範明 清水 潤也

藤川 藤穂 江口 絹代
増子 三枝子 吉倉 秀樹
松原 由美子 杉山 美絹
藤草間 敏夫 鈴木 愛子
佐々木 森雄 竹崎 典夫
弓削 喜代子 野尻 壽子
藤竹 晶子 中沢 静男
宇井 ひさ江 館野 恵子
百瀬 多可子 辻 淳一郎
老川 統三 長谷川 教佐
一杉 秀平 佐南谷 雅枝
林 まつ江 大野 紀美
今井 朋子 守谷 朱美
梅澤 一雄 荻部 寿美
山田 敦子 森岡 綾子
猿渡 英明 寺坂 史夫
湯本 佳子 城野 公正
石川 琢哉 友寄 美津子
田中 里奈 藤田 恵美子
伊達 年子 石原 喜久男
福田 眞 我妻 美根子
土屋 供生 清水 将之
藤永 健二 松丸 万利子
中島 美江 梅村 旻二
木元 淳平 大町 勝

佐藤 暁子 縫部 鐵次郎
松丸 照雄 上田 実帆子
中原 雅子 板垣 弘毅
寺下 愛由実 松丸 由紀子
墳崎 敏之 古川 正紘
松戸友の会 岩間 久仁子
竹之内 由美子
マエダ トシユキ
(株)早見設備 (株)HYK
(株)山野辺建設 ケーワ(株)
(有)シヨセ (株)ミヤマ建設
(株)セイワ (株)さかもと
(有)長島産業 (株)ユーライフ
(株)智泉 (有)ファミリーサポート
(株)コモノ設備
(株)ヘルスファミリー
平和店舗デザイン(株)
(株)ライフサポート
太陽不動産
(株)アーバンファミリー
(有)ウィズライフ
(株)安藤ライフサービス
松下歯科医院
合同会社深作運送
山本建築設計事務所
松戸中央自動車学校
アジルライフネット(有)
(有)コンシエルジュMドリーム
(有)アセットマネジメント
(株)アップ・シーアイ

ライフフリード(株)

「晴香まなび基金」へのご寄付並びに、ご厚意ありがとうございます

〈学び基金〉

浅川 文雄 月館 聡成
金村 慶二 飯田 展久
湯本 佳子 東 秀隆
佐々木 瑞恵 阪上 順子
佐々木 森雄
ヤマウラ フミオ
モリヤ タダヒロ
マエダ トシユキ
スズキ ツトム
(株)サユリインターナショナル
サントレーディング(有)
匿名
〈ご厚意〉
須藤 勝 三原 立子
島根 明 小室 祐生
齋藤 義雄 ハネス 真
大久保 至 吉井 秀仁
オガワ ヨシオキ 上屋 潤
城野 公正 野口 美幸
ひろせ ゆうこ 金城 雅夫
聖光ヶ丘病院 伊橋 幸人

福山 直樹 高井 秀保
浅井 利明 門司 一徹
中村 康子 岩橋 明
中村 亜紀子 岩佐 次郎
吉羽 由紀子 水上 理歩
松原 修平 飯田 展久
恩田 晃江 千葉 優基
小峰 正行 鈴木 正夫
糸久 香代子 谷内 幸恵
ハネス 真 雄志館
橋本 薫 大川 恵加
安田 隆 齋藤 健
斎藤 俊夫 松井 秀文
高野 まゆみ ナイナーズ
森川 幸輝 松丸 和司
中寫 隼太 内田 由樹子
我妻 美根子
橋立 光稀二樹
大久保 至・摩利子
めぐみこころのクリニック
福祉のネットワーク 水の輪
土地地区民生委員
貴園と同じ名の子を持つ母
スガテック柏電気管理事務所
松戸市社会福祉協議会
(株)雅嶺
(株)サユリインターナショナル
(株)湯浅建設
代表取締役 湯浅 健司
(株)エムストラダ

(株)シブヤ (株)フレイベル館
 合同会社 深作運送
 (株)プレナス Hottomotto
 (有)松正酒店
 公益財団法人毎日新聞東京社
 会事業団
 (有)梅鶴恩田商店
 楽園柏店 日本鏡餅組合
 マブチモーター(株)
 千葉地方家庭裁判所松戸支部内
 松戸調停協会千葉少年友の会
 松戸支部
 (株)浜友A・L・楽園松戸店
 24時間テレビチャリティー
 委員会
 マルハンメガシティ柏店
 セブンイレブン三郷中央
 五丁目店
 子供地球基金事務局
 未来しこう(株)
 代表取締役社長 松本隆幸
 千葉ジェッツ
 ルート産業(株)
 NPO法人 次代の創造工房
 理事長 磯 和樹
 フィリップモリスジャパン
 農園とフォーク青果店
 メルセデスベントツ葛飾
 (株)シュテルン葛飾
 NPO法人 Imagine



ペンギンハウス724
 会長 岩渕泰博
 Mico·poonnoosamy
 Miya·poonnoosamy
 斎藤俊夫税理士事務所
 山崎製パン 松戸工場
 ジョン・リン
 ジュイ・フェン・リン
 シオン・ルイ・ファン
 西村 菜摘子
 福祉のネットワーク水の輪

ボランティアの協力 ありがとうございました

ゴールドマン・サックス・
 ミュージック・アウトリーチ・
 プログラム
 流通経済大学付属柏高等学校
 谷内
 匿名

【学習】
 猿渡 英明 小林 由美子
 田中 里奈 柴田 和子
 一般社団法人JOEE
 【アロマ】
 鈴木 樹里
 【ピアノ】
 石井 田鶴子
 【ケーキ】
 オペラ座
 【花】
 松戸更生保護女性会
 NPO法人Imagine
 【遊び】
 一般社団法人はこぶね
 【読み聞かせ】
 高橋 千尋 湯本 桂子
 【ボクシング】
 中寫 隼太 森川 幸輝

頑張れ受験生！

二月は受験シーズン。今年度は二月十八日、十九日と二日間公立高校入試が実施され、中学三年児四名が受験生で勉強に励んでいました。今回はその中で、Rちゃんに受験についてインタビューさせて頂きました。

「得意科目はありますか？」

Rちゃん「理科だと生物、社会だと公民、英語とか国語だと文法、数学だと図形、それぞれの科目に対して好きな分野があります。でも本当に好きなのは受験に使わない家庭科と美術です(笑)」

「試験前に大変だったことはありますか？」

Rちゃん「中学三年生の勉強の範囲に追いつかせることです。後は睡眠の管理。勉強したいとは思いつつ、疲れて寝落ちしてしまう日もあったりして大変でした。」

「将来の夢や高校卒業後の進路はどうしていきたいですか？」
 Rちゃん「将来についての目標はまだ具体的には描けていないけど、調理(特に製菓)に関する仕事に就きたいと思っています。自分の作った料理で食べてもらった人に感動を与えられるようになります。なので、高校卒業後も製菓系や調理系の専門学校に通えたらと思っています！」

志望校選びにかなり迷っていたRちゃん。悩んだその数はなんと八校！何度も高校見学に足を運んだり、塾に通ったりと普段の学校生活と受験勉強を両立する様子を職員も間近で見っていました。Rちゃんは普段、ホームでも夕食づくりを手伝ってくれたり、美味いお菓子を振舞ってくれたりします。そんな彼女の将来が職員としてもとても楽しみです。



子どもたちと後援会員との交流会のお知らせ

日 時 令和7年5月10日(土) 11:30~13:30

会 場 ロイヤルガーデンパレス 柏 日本閣

参加費 後援会員2,000円 **内 容** 晴香園の子どもたちと会食



ご出席のご連絡のお願い

ご参加をいただける方は、事前に下記までご連絡をお願いいたします。

●期限: 令和7年4月25日(金) ●電話: 047-345-2722

お振込先口座のご案内

後援会へのご寄付について

※法人会員 年会費5,000円以上
個人会員 年会費2,000円以上でお願いしています。

みずほ銀行 北小金支店
口座番号 普通 3003235
口座名 社会福祉法人晴香

※寄付金に関する詳細は、
下記にお問い合わせください。

〒270-0011
千葉県松戸市根木内145
社会福祉法人 晴香

TEL.047-345-2722
FAX.047-309-8807
E-Mail: info@s-haruka.org

まなび基金へのご寄付について

みずほ銀行 北小金支店
口座番号 普通 3003243
口座名 社会福祉法人晴香



式の様子



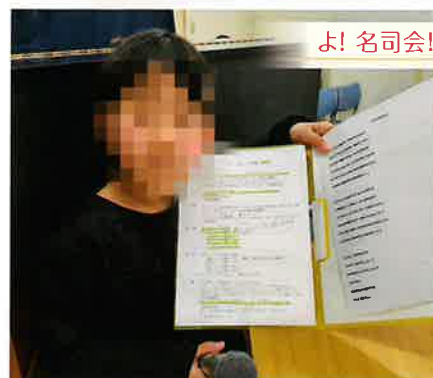
旅立ちの会では、主役はもちろ卒園生の五名ですが、裏で会を成功させるために頑張ってくれた子どもたちを紹介します。

入退場の曲と、みんなで合唱した「旅立ちの日に」のピアノを担当してくれたSちゃん(十七歳)。すてきな演奏でした。ここ数年毎年担当してくれていて、安心して任せられる頼もしい存在です。Sちゃんが卒園したら、一体誰に頼めばいいのか…後継者を募集中です(汗)

旅立ちの会・番外編

今回、司会に初挑戦してくれたKちゃん(小四)。勇ましく立候補してくれました。台本にしっかりとひらがなを振って、ホームで職員と練習して臨みました。「りじちゅうよりしゃいをひょうした」とおもいます」は最難関。リハールでは囁んでしまいましたが、本番では見事に決めてくれました。「言えたー!」って絶対思っているであろう瞳の輝きを職員は見逃しませんでした。

そして、会場の飾りつけは有志で色々な子どもたちが担ってくれました。みんなありがとう。これからも、職員と子どもと、みんなで作り上げる旅立ちの会でありましょう。



編集後記

春の日差しに心も温まる今日この頃、皆様におかれましては変わらぬ元気で過ごしのことと存じます。

ここ数号は写真を少し多めに載せて子ども達の表情や雰囲気、皆さまに少しでも伝わるようにさせてもらっておりますが、いかがでしょうか。

いいモデルさんたちばかりですので、毎回写真の厳選が大変です(笑)。特に、旅立ちの会のような普段と違った場面では、ふとした瞬間の大人びた顔に成長を感じます。

みなさまには是非、五月の交流会に脚をお運びいただき、子ども達との食事や会話を楽しんでいただければと存じます。

新年度で何かと慌ただしいかと思いますが、どうぞご自愛ください。

広報担当 前田・鈴木・大森